

## 新たな不登校が生じない取組 「未然防止」の取組

### 不登校が生じない魅力ある学校・学年・学級づくりの推進

#### 【取組1】(A中学校)

##### 「学芸発表会」を通じた取組事例

合唱だけでなく教科や部活動の発表を取り入れ、日常の学習活動を通して、生徒一人一人が成長したり、仲間と協力したりしている成果を発表している。生徒が互いの良さを認め合う場として「学芸発表会」を位置付け、より創造的で意義深い学びの場を目指している。生徒は限られた準備期間の中で、互いに話し合い、工夫を凝らしながら真剣に取り組んでいる。生徒はこの取組を通して「主体性」と「協働性」を育んでおり、学級や学年を大切に思う気持ち、そして学校の一員であることへの誇りを高めている。こうした取組は、学校生活に「居場所」と「きずな」を生み出し、不登校の未然防止に直結する重要な要素になっている。

#### 【取組2】(A中学校)

感謝を伝えたい人にメッセージを書いて直接渡す「ありがとうカード」など、感謝を形にする活動を通して、誰もが認められる学級や学年の雰囲気をつくっている。実行委員の努力等を学年集会や学年だよりで取り上げ、目立たない役割にも価値があると感じられるようにすることで、学校が安心できる居場所になるよう取り組んでいる。



#### 【取組3】(A中学校)

合唱練習を通じて協働的な体験ができ、パートリーダー会議で課題を共有し改善策を考える中で仲間との結束が強まっている。学芸発表会や学年集会で仲間にエールを送り合う応援の取組を行うことで、学年を超えたつながりが深まっている。

#### 【取組4】(A中学校)

生徒の興味を起点に授業での学びを設計し、自己決定を通して数学に関連するテーマを調べ、数学新聞を作成した。班で発表後、代表者が全体発表を行った。「伝わる発表」、「他者の考えの価値に気付く」を授業の目標とし、発表者の良さに注目する姿勢を大切にした。生徒は主体的に学び、伝える力や他者への理解を育んでいる。安心して表現できる環境づくりと、自分の存在価値を感じる授業展開を重視し、魅力ある授業づくりを推進している。

#### 【取組5】(A中学校)

不登校の未然防止を目的に、生徒意識調査を活用した校内研修を実施し、授業改善に取り組んでいる。研究のテーマとして、生徒が主体的に「気付く・考える・関わる」を意識できるように設定した。

## 多様な学びの場を確保する取組

（「早期支援」及び「長期化への対応」の取組）の推進

### 支援会議（B中学校）

各学年の情報共有シートを活用し、支援会議を円滑に運営している。生徒の現状、関係機関との連携、対応方針を記入。最新の情報が分かりやすく閲覧できるようシートのフォントを工夫している。校内別室を利用する申請書の内容を協議し、生徒が校内別室で取り組む内容を自由に記載できるように工夫した。

### アウトリーチによる支援（C中学校）

欠席が続く生徒を家庭訪問し、学校行事の事前指導の参加に向けた登校支援を実施。学級担任や管理職と連携し、当該生徒の不安に寄り添いながら登校への意欲を引き出す働きかけを続けている。家庭訪問や週1回の登校支援を通じて、信頼関係を築きながら不登校の長期化への対応を丁寧に進めていく。

### 校内別室における支援（D中学校）

生徒が安心して過ごせる環境を整備し、校内別室の活用を進めている。学級担任や学年の教員も別室での会話を通して、生徒との関係性の構築に努めている。生徒考案の校内別室キャラクターを活用し、学級とのつながりを促進。ハロウィンには絵本も制作した。

下校前には、校内別室にて生活ノートの「ひとこと記録」の記入を促している。支援員による声掛けと学級担任による継続的なコメントの積み重ねにより、生徒との信頼関係が深まった。



### デジタル機器を活用した支援（D中学校）

教育支援ツールによる心の健康観察を実施。生徒自身が心の状態を振り返る機会となり、教員はコメントやアラート表示を基に状況を分析した。学級担任と連携し、聞き取りを行い、支援会議で情報共有している。

不登校、いじめ、自殺等の未然防止と個別支援の充実を図っている。

### 関係機関との連携（C中学校）

校内別室を利用する生徒が、オンラインを活用して理科の実験教室に参加する取組を公立大学と連携して実施した。校内別室を利用する生徒や不登校生徒の、多様な学びを実現できるよう、関係機関と引き続き連携していく。



## 成果

生徒に「安心感」、「自己有用感」、「人とのつながり」をもたらす活動を行うことを通して、不登校の背景にある孤立感や不安感を軽減し、前向きな気持ちを育むことができた。

## 課題

教職員の不登校への理解を深め支援員や関係機関と連携し、情報共有の体制と不登校対応の基本ルールを整えることが重要である。